

鶴見川流域水マスタープラン アクションプラン 登録依頼書

1. 名称	“花咲く鶴見川”アクションプラン	登録番号※1	2
2. 目的と内容	<p>自然環境マネジメントでは、【目標1：流域に残された自然環境を保全する】、【目標2：水と緑のネットワークを保全・回復する】、【目標3：身近な自然と共生する都市を再生する】として、多自然川づくりや市民・市民団体、企業、行政の連携・協働による流域貢献を施策の展開方策の1つに掲げており、本アクションプランはこの目標の実現を目指すことを目的とする。</p> <p>市民・市民団体、行政が連携し河川環境の維持管理が進められている。このような中で、鶴見川流域では外来種に関する課題が生じているが、「重要種の保全と外来種駆除に向けたアクションプラン（H21.3）」やNPO法人鶴見川流域ネットワークングによりアレチウリ等の外来種駆除対策が進められてきた。引き続きこれらの対策を進めるためには、多自然川づくりを主としたアクションプランを作成し、市民・市民団体が主体となって活動できる更なる枠組みが必要である。本アクションプランは、NPO法人鶴見川流域ネットワークングが中心となり、アレチウリに加え、花粉症誘発植物であるネズミホソムギ等の抑制を目的にノカンゾウ・ハマカンゾウ・ヤブカンゾウ・ハナウド等を植栽し、外来種駆除と併せて高水敷の景観をより良好に改善していくものである。同時に7拠点を中心に流域内へ展開することを目指すものである。</p>		
3. 策定・実行主体	NPO法人鶴見川流域ネットワークング（河川協力団体）、 鶴見川流域水協議会代表事務局（京浜河川事務所）		
4. 対象地域	鶴見川本川（対象拠点：7地点） みつやせせらぎ公園、関山ワンド、鴨居地区、新羽～新横浜大橋左岸、 綱島地区、鷹野大橋右岸、生麦河口干潟		
5. 主な水マス 該当施策	<p>自然環境マネジメント</p> <p>【施策2】水系・緑地の生態的ネットワーク化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来種の駆除及び自然植生（在来種）の保全・回復に努める（小分類） <p>【施策4】市民が身近に自然とふれあえる場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による流域の自然環境管理の推進（中分類） ・自然とふれあう機会の創出（中分類） 		
6. 実行期間	2019年11月～2024年3月（2019年度～2023年度の5年間）		
7. モニタリング 指標	ノカンゾウ、ハマカンゾウ、ヤブカンゾウ、ハナウド等の各株数		
8. 添付書類	特になし		
9. その他・特記 事項	特になし		
10. 連絡窓口 公開・非公開※2	<p>①組織名1：NPO法人鶴見川流域ネットワークング 事務局</p> <p>②住 所：神奈川県横浜市港北区綱島西2-19-1 ③連絡先：045-546-4337</p> <p>①組織名2：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 流域調整課</p> <p>②住 所：神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1③連絡先：045-503-4000（代表）</p>		

※1：登録番号は事務局にて記載

※2：上記項目1.～9.については公開、10.については公開・非公開の選択可

事務局欄

